

■ 法人の皆さまへのサービス

中堅・中小企業への商品・サービス強化

●金融円滑化への取り組み

三井住友銀行では、お客さまを取り巻く環境が厳しさを増すなか、お客さまへの円滑な資金供給が私ども金融機関の社会的責務であるとの認識に立ち、より適切かつ積極的な金融仲介機能の発揮に努めていきます。平成21年12月には、法人部門の統括部署内に「法人金融円滑化推進室」を設置するなど、よりきめ細かく対応できる体制を整備しています。

お客さまの事業の発展に貢献するため、お客さまのニーズ・課題等を理解し、適切な商品・サービスをご提供できるよう、引き続き取り組んでいきます。

●環境に配慮した商品・サービス

三井住友銀行では、大企業のお客さまのみならず中堅・中小企業のお客さまへの環境取り組み強化に対する社会的要請が高まるなか、環境関連資金調達プログラムの拡大、同行ホームページ内での環境ビジネス情報サイトの開設、セミナー開催等を通じて、積極的にお客さまの環境取り組み支援を図ってきました。環境関連資金調達の取扱実績は平成23年3月末時点で、累計約3,500億円に達しています。

また、「SMBC環境配慮評価融資／私募債」は平成22年1月に「2009年日経優秀製品・サービス賞 優秀賞」を受賞、平成22年11月には「第7回エコプロダクツ大賞」において、「エコサービス部門 環境大臣賞」を受賞するなど、社会的にも好評価をいただいています。



●各種情報提供に関するサービス

「ビジネスマッチング」については、行内の推進体制およびインフラを強化し、商談件数の飛躍的増加を実現しました。特に、多数のお客さまを大企業の購買窓口等に集中的にご紹介する「一括マッチング」は、お客さまに大企業の購買情報を数多くご案内することが可能となっています。

また、「環境ビジネスの推進」を目的に、平成22年12月に「三井住友フィナンシャルグループ環境ビジネスフォーラム」を東京ビッグサイト「エコプロダクツ2010」内で開催しました。その中で、大手企業の「環境」に関する仕入拡大ニーズと、中小企業の販路拡大ニーズをマッチングする商談会を開催し、約670件の商談を行っています。

なお、同イベントにおいてSMFG各社が、幅広い環境ソリューションを展示するとともに、パネルディスカッションを開催する等、さまざまな情報提供も行っています。

更に、株式公開を検討しているお客さまに対し、継続的かつ総合的な支援を可能とすべく、三井住友銀行とSMBC日興証券が共同運営する会員制無料情報提供サービス「IPOナビゲーター」を平成22年7月にリリースしました。提携先のアドバイザー企業9社、協賛企業2社からもコンテンツの協力をいただくことで、IPOに必要な情報をワンストップでご提供できるプラットフォームとなり、リリースから約半年間で260社を超えるお客さまにご入会いただくなど、ご好評をいただいています。引き続き、三井住友銀行とSMBC日興証券は株式公開志向のあるお客さまを支援していきます。



グローバル企業への対応力強化

海外へ進出するお客さまが増加するなか、資金面のみならず、商習慣、文化、制度の解釈等の課題解決ニーズが高まっています。

三井住友銀行では、グローバル展開されるお客さまが直面するクロスボーダーの課題解決をサポートする部署である「グローバル・アドバイザリー部」が、お客さまの海外事業支援への国内外一体となった対応力の強化を進めています。

中国・アジアのみならず、ブラジル等も含めたお客さまの関心の高いグローバルなテーマによるセミナーの開催、各国経済概況等海外情報の配信等により、海外進出を検討されているお客さまへ現地事情、各種規制情報や業界動向等の情報をご提供することはもとより、既にグローバルに海外事業を展開されているお客さまにも、事業の拡大、再編等に対して、お客さまそれぞれのニーズに応じたより質の高いサポートやソリューションの提供を行える体制を構築しています。

グレーターチャイナ地域での取り組み強化

グレーターチャイナ地域(中国大陸、香港、台湾)では、経済の一体化が進み、企業の商流や資金のやりとりが活発化しています。同地域には既に数多くの日本企業が進出し

ていますが、拡大を続ける中国マーケットを狙って、今後
も企業の参入・展開の動きが更に活発になることが予想さ
れます。

三井住友銀行では、こうしたグレーターチャイナ地域と
日本に跨るお客さまのニーズにこれまで以上にお応えして
いくため、平成22年度に中国現地法人、平成23年度に香
港支店、台北支店の日系企業取引にかかる業務の推進企画、
管理等を国際部門から国内部門に移管しました。

また、平成23年5月20日には中国現地法人の深圳支店
を開業し、香港、広州支店を含めたSMFGのネットワーク
により、華南経済圏におけるお客さまのビジネスのサポ
ートを強化しています。

業務面では、平成22年度に中国企業と協働し「中国進出
支援ファンド」を組成しました。このファンド機能を活用し、
中国への進出時に発生する中国国内での資金ニーズや資本
増強ニーズに対応したエクイティ等の資金を支援するとと
もに、日本企業のグローバル化に必要なビジネス支援・育成
を日本と中国の両サイドからあわせて行っていきます。

引き続き、お客さまの当社・現地法人双方に対して、内
外一体となって、より円滑できめ細かなサービスを提供し
ていきます。

公共・金融マーケットでの取り組み強化

わが国を取り巻く各種経済環境の変化に伴い、地方自治
体および地域金融機関が果たすべき役割も、ますます高度
化、多様化しています。特に、地域の産業振興、企業誘致、
社会インフラの整備、環境対策、地元企業の海外進出支援
等では、海外を含めた幅広いネットワークと正確でタイム
リーな情報収集が必要であるものと考えます。

このようなニーズに対して、三井住友銀行グループの国
内外のネットワークを利用した各種サービスの提供を行う
一方、地方自治体・地域金融機関との連携にも取り組んで
います。平成23年6月には、成長産業の育成に戦略的に
取り組んでいる北九州市と産業振興に関する連携協定を締
結しました。また、平成22年度以降、関西アーバン銀行、
三重銀行ほか4行と海外事業支援に関する業務提携を締結
しています。

先般の制度改正を契機に、事業や財務戦略の見直しが必要
となった公益法人のお客さまに対しても、三井住友銀行
グループの各種サービスを提供しています。

今年度は、平成20年に産業振興に関する協力協定を締
結した宮城県をはじめとして、東日本大震災で被害を受け
た地方公共団体に対し、各県が掲げる復興計画に応じて復
興を金融面から支援すべく、活動を開始しています。

Topics

◆「IPOセミナー」開催

平成23年2月、三井住友銀行とSMBC日興証券は
共同で「第1回IPOセミナー」を開催しました。本セミ
ナーは「IPOナビゲーター」会員のお客さまを対象に
SMBC日興証券と日本総合研究所から講師を招いて
開催したもので、当日は東日本エリアを中心に約120
名のお客さまが参加されるなど、大変盛況となりま
した。平成23年7月には、西日本エリアを中心とし
たお客さまを対象とする第2
回セミナーを大阪で開催す
るなど、引き続き質の高い
情報やコンテンツの提供を
通じて株式公開志向のある
お客さまを支援していきます。



セミナーの様子

◆「SMBC食・農評価融資」取り扱い開始

三井住友銀行では、日本総合研究所が作成した
独自の評価基準に基づき、企業の「食」や「農」に関す
る取り組みをアンケートやヒアリングによって評価
し、評価結果に応じた融資条件を設定する「SMBC
食・農評価融資」の取り扱いを開始しました。また、
制度設計の段階からご意見を頂戴したアサヒビール
株式会社に第一号の融資を実行し、融資実行証の授
与式を行いました。

三井住友銀行は、「SMBC食・農評価融資」により、
日本の「食生活の向上」および「農水産業の強化」につ
ながる取り組みを、金融を通じて支援していきます。

評価の説明・
ディスカッションの様子



アサヒビール株式会社への融資実行証授与の様子